

病虫害防除技術情報第2号

平成 23 年 5 月 19 日
三重県病虫害防除所

ネギのネギアザミウマが増加しています

- 1 対象作物 : ネギ
- 2 対象害虫名 : ネギアザミウマ
- 3 発生状況
 - 1) 巡回調査圃場でのネギアザミウマによる被害葉率は、4月上旬は 0.9% (平年 5.8%) でしたが、5月上旬は 57.8% (平年 8.0%) であり、被害が増加しています (表) 。
 - 2) 1 か月予報 (5 月 13 日名古屋地方気象台発表) によると、向こう 1 か月の気温は低くなく、降水量は多くないと予想され、ネギアザミウマの発生に好適な条件と考えられます。

表 . ネギアザミウマによる被害状況

調査場所	被害葉率 (%)	
	4 月上旬	5 月上旬
松阪市東黒部町	-	72.6
伊勢市東豊浜町 1	1.3	67.3
伊勢市東豊浜町 2	0.7	66.0
伊勢市東豊浜町 3	0.7	42.0
伊勢市東豊浜町 4	0.7	41.3
平均	0.9	57.8
平年	5.8	8.0
平年比	やや少	多
松阪市嬉野川北町 (定点・無防除)	17.3	66.7

各圃場 150 葉 (50 株 × 3 葉) を調査。
平年値は過去 10 年間 (平成 13 ~ 22 年) の平均。

- 4 防除上の注意事項
 - 1) ネギアザミウマによる被害は、成幼虫が葉の表面を食害するため、カスリ状に白くなります。気温の上昇とともに発生が増加し、多発すると生育不良となります。
 - 2) ネギアザミウマの増殖力は高く、多発すると防除が困難になるので、早期防除を行ってください。
 - 3) 必要な場合は展着剤を加用し、薬液が葉面によくかかるよう、ていねいに散布してください。
 - 4) 農薬はラベルの表示を確認し、正しく使用してください。